

## 基本研修・選択：救急部門

### I. プログラムの目的と特徴

本プログラムは、救急室及び麻酔科で行う3ヶ月の卒後臨床研修プログラムである。その目的は、救急の基本的な臨床的知識・診療技術の習得を目的とする。

また、一人の人間として社会的常識を備え、医療スタッフや患者とコミュニケーションのとれる医師の育成をはかること。救急に関しては生命や機能的予後に係わる、緊急を要する病態や疾病、外傷に対して適切な対応ができるようにするとともにペインクリニック、集中治療や救急蘇生などの基本的な臨床的知識・診療技術の習得を目的とする。

### II. 指導医リスト

研修指導責任者：阿部 永（救急科、外科）  
指 導 医 田澤 浩 司（整形外科）  
荒 木 功（麻酔科、非常勤嘱託）

プログラム参加部局

- 1) 救急室
- 2) 手術室（緊急手術、気管内挿管実習）

### III. プログラム管理運営および指導体制

プログラムの責任者、研修指導者、研修指導医による合議による指導体制の整備並びに教育の管理運営を行う。

### IV. 研修カリキュラム

#### 1. 到達目標

GIO：一般目標

医師として、将来どのような分野に進んでも必ず係わるであろう病態や疾患、外傷の患者の緊急状態に対して適切な判断、処置が出来るような臨床能力を身に付ける事を目標とする。

SBOs：行動目標

- (1) バイタルサインの把握が出来る。
- (2) 重症度および緊急度の把握が出来る。
- (3) ショックの診断と把握が出来る。
- (4) 二次救命処置が出来、一次救命処置を指導できる。
- (5) 頻度の高い救急疾患の初期治療ができる。
- (6) 専門医への適切なコンサルテーションができる。

(7) 大災害時の救急医療体制を理解し、自己の役割を把握できる。

## 2. 研修内容

- (1) 心肺停止
- (2) ショック
- (3) 意識障害
- (4) 脳血管障害
- (5) 急性呼吸不全
- (6) 急性心不全
- (7) 急性冠症候群
- (8) 急性腹症
- (9) 急性消化管出血
- (10) 急性腎不全
- (11) 急性感染症
- (12) 外傷
- (13) 急性中毒
- (14) 誤飲、誤嚥
- (15) 熱傷
- (16) 精神科領域の救急

## V. 週間スケジュール

救急室を通して実施し、研修は当該科の指導医の協力の元を実施する。